

研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学附属烏山病院（精神科を主体とする病院）における歯科・歯科口腔外科の役割について

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月から2018年3月に歯科を受診した精神科病棟入院および精神科外来に通院中の方とする。

2. 研究目的・方法

目的：平成23年度の歯科疾患実態調査において、8020達成者の割合は38.3%で高齢者の残存歯数は増加傾向を示しています。しかし、精神疾患の患者さんは、若年者でも口腔清掃状態が良好とはいえ、重度歯周病、齲蝕による臼歯部の喪失、不適合な義歯使用による咀嚼障害を有するケースが多くみられます。またそれに伴う低栄養も問題とされています。さらには、丸呑みや詰め込み食による窒息事故、転倒やECT後の歯牙の動揺、歯肉出血、口唇・舌・頬粘膜の誤咬などのアクシデントのリスクが高まることから、歯科的介入による口腔機能、栄養状態の改善と管理、リスクマネジメントが重要とされています。そこで今回、精神科病棟入院患者および外来通院患者への歯科的介入に及ぼす影響を明らかにし、今後の歯科的介入のあり方について検討することを目的として、入院患者および外来通院患者の診療情報の一部を利用させていただきます。

研究期間：2016年6月27日 ～ 2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

調査対象情報：入院患者データ、外来患者データ

調査項目：年齢、性別、精神・神経疾患分類および経過、身体合併症、身長、体重、服用薬剤、血液データ（一般検査・生化学検査）、X線写真、口腔環境、食形態、誤嚥・窒息アセスメント結果、栄養状態

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所 属：昭和大学附属烏山病院 歯科室 山口 麻子（研究責任者）

住 所：157-8577 東京都世田谷区北烏山 6-11-11

電話番号：03-3300-5231（代）